

工学院大学 留学プログラム（派遣）報告

年度：2024 年度

■プログラム実施状況

プログラム名	実施先	対象	期間	参加人数	単位認定
ハイブリッド留学	アメリカ (UNLV)	先進工学部 2 年生 情報学部 2 年生	2024 年 6 月 24 日 ~8 月 18 日	34 名	有
ハイブリッド留学	イギリス (CI/Univ. of Kent)	建築学部 3 年生	2024 年 9 月 7 日 ~12 月 8 日	39 名	有
ハイブリッド留学	イギリス (CI)	工学部 1 年生	2025 年 2 月 1 日 ~3 月 30 日	25 名	有
中国語夏期語学研修	台湾 (南台科技大学)	全学	2024 年 8 月 4 日 ~8 月 17 日	—	有
NZ 語学研修	ニュージーランド (LSI)	全学	2025 年 2 月 14 日 ~3 月 15 日	24 名	有
ディプロマット留学	アメリカ (UNLV)	工学研究科	秋学期 春学期	1 名 —	有
交換留学	イタリア (サッサリ大学)	工学研究科 建築学専攻	秋学期 春学期 (2025 年春渡航)	— 1 名	有
交換留学	イタリア (IUAV)	工学研究科 建築学専攻	秋学期 春学期	— —	有
交換留学	イタリア (ミラノ工科大学)	工学研究科 建築学選考	秋学期 春学期	— —	有
交換留学	イギリス (ケント大学)	工学研究科 建築学専攻	秋学期 春学期	— —	有
創造工学海外研修	アメリカ フランス ポルトガル	先進工学部 機械理工学科 3 年	2024 年 2 月~3 月	— — —	有

■ ハイブリッド留学における参加者アンケートに基づく学生の成長実感

2022年度のプログラムより、ハイブリッド留学参加者に対し、以下を主な目的として、出発前と帰国前にアンケートを実施しています。

- ・学生の留学への意識や感想、満足度を調査
- ・定点調査することで、長期的な視点でのデータ比較を行う
- ・学生への動機づけ（気づきを与える）

2025年3月以前に終了している先進工学部・情報学部2年生対象のプログラムおよび建築学部3年生対象のプログラムの結果は以下の通りとなります。

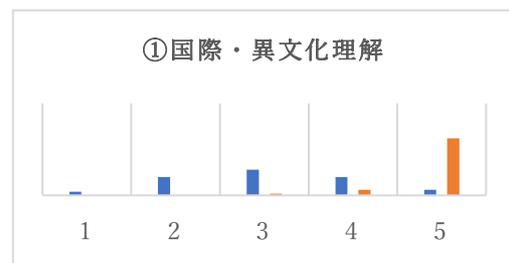
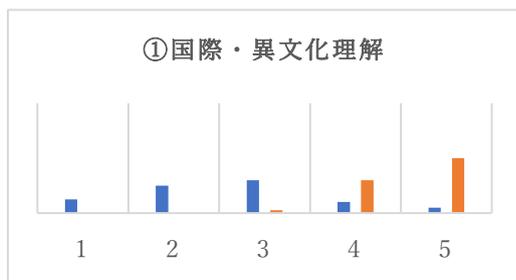
設問について：以下の19項目について1から5段階のスケールで学生の自己評価による調査

- ・(青：出発前) ハイブリッド留学出発前時点で、どの程度力を持っているかどうかの調査
- ・(赤：帰国前) ハイブリッド留学に参加してみて、どの程度習得できたと思うかの調査

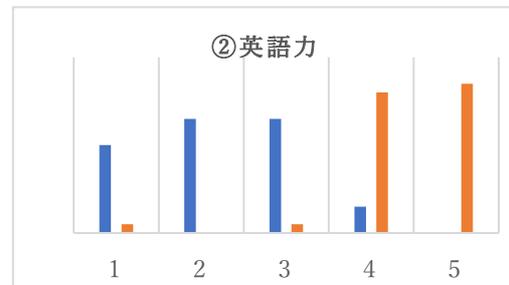
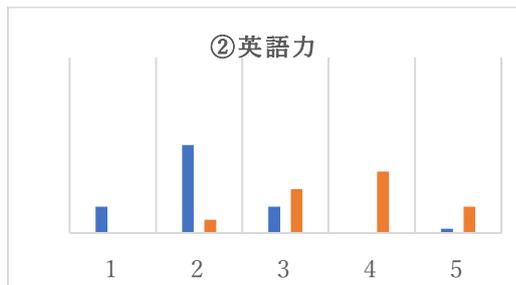
米国ハイブリッド留学（先進工学部・情報学部2年生）

英国ハイブリッド留学（建築学部3年生）

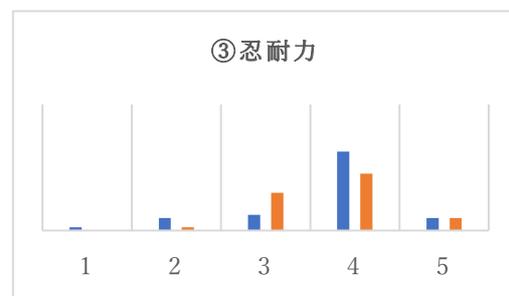
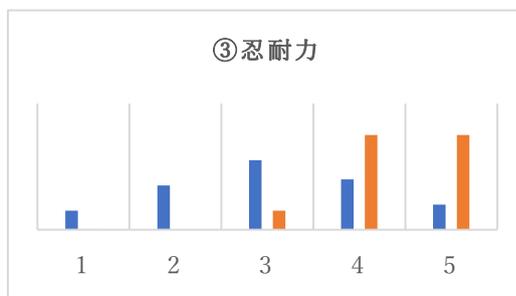
① 国際・異文化理解



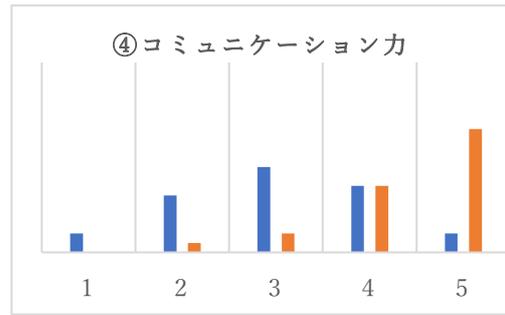
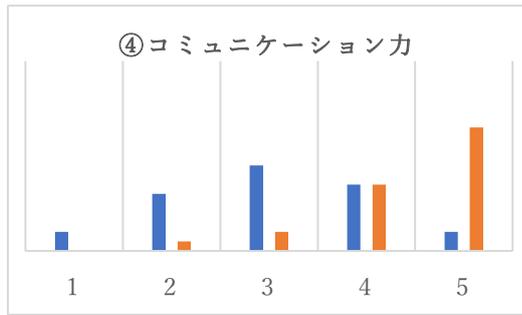
② 英語力



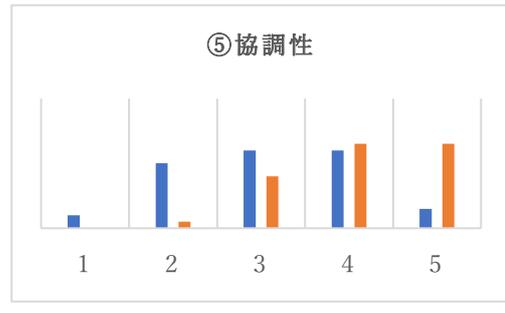
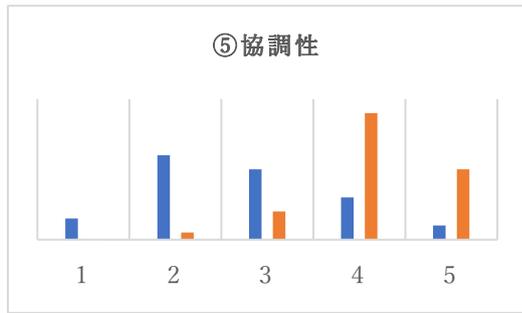
③ 忍耐力



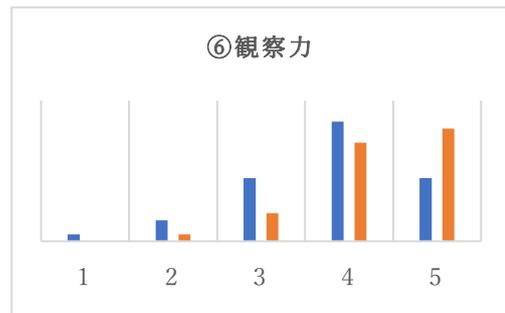
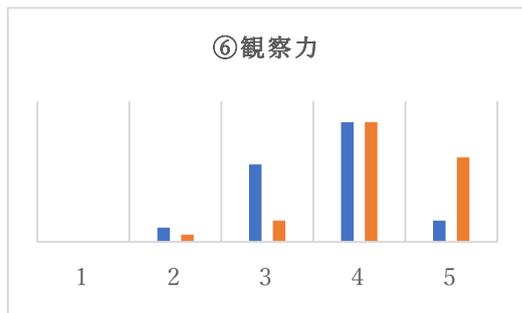
④ コミュニケーション力



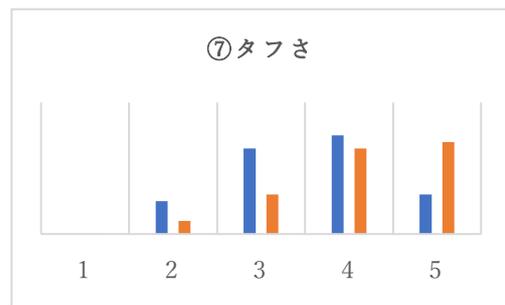
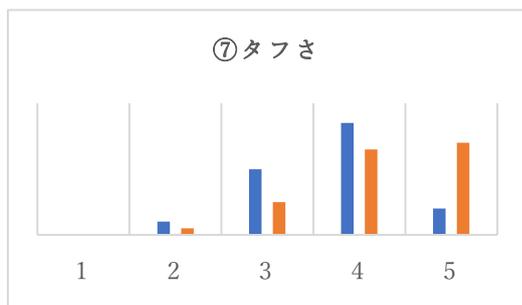
⑤ 協調性



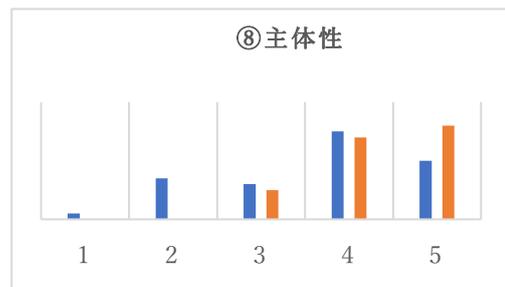
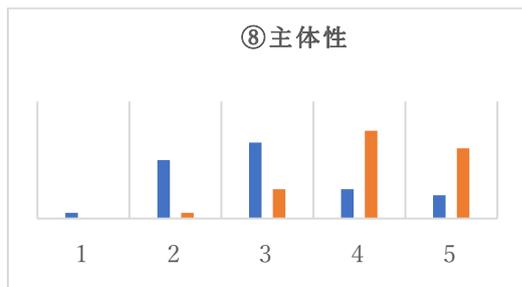
⑥ 観察力



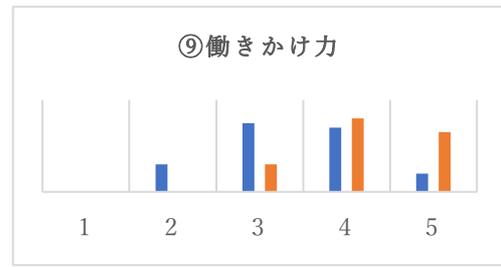
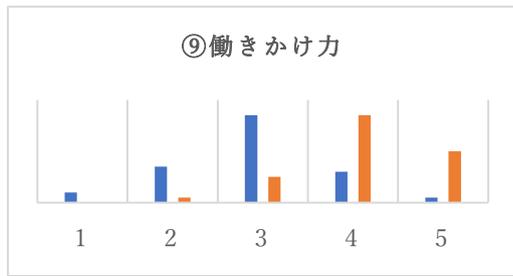
⑦ タフさ



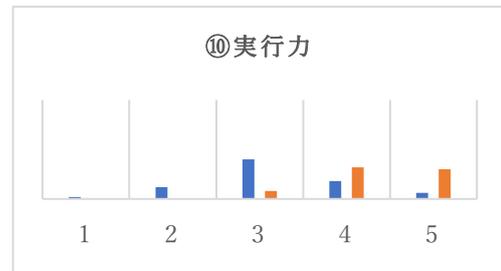
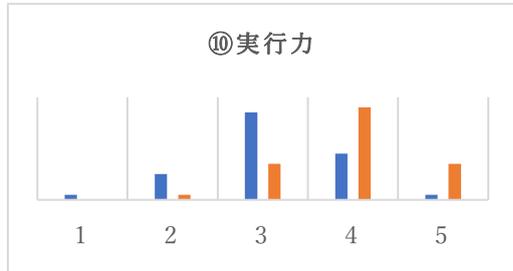
⑧ 主体性



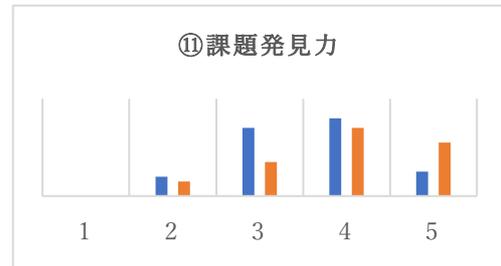
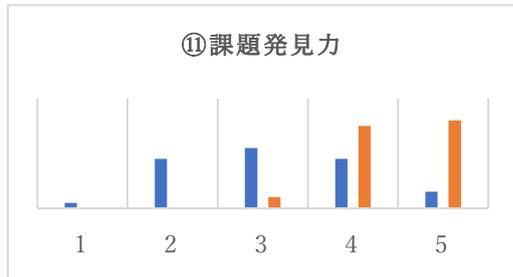
⑨ 働きかけ力



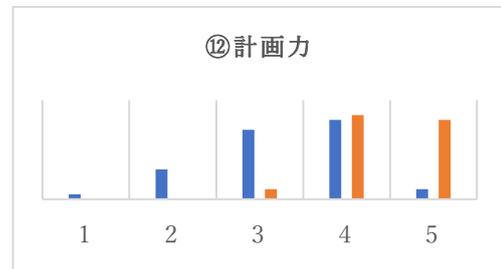
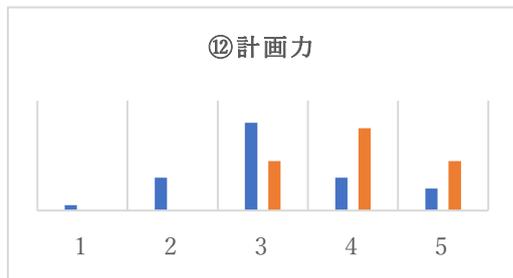
⑩ 実行力



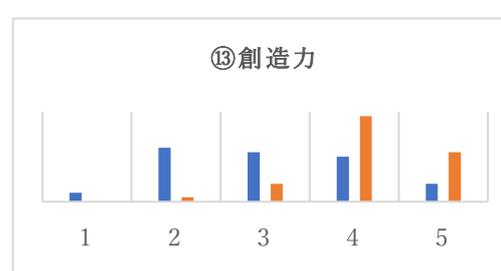
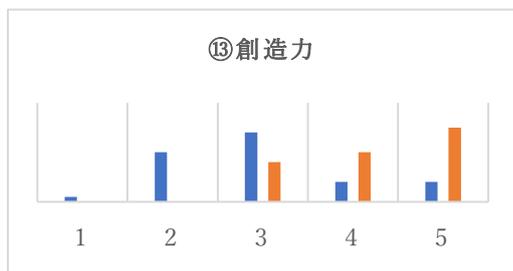
⑪ 課題発見力



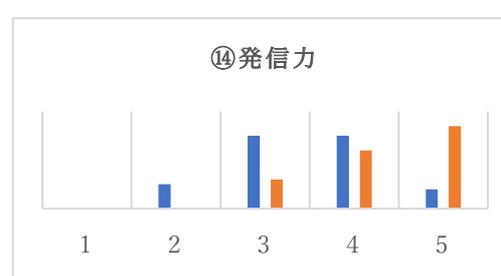
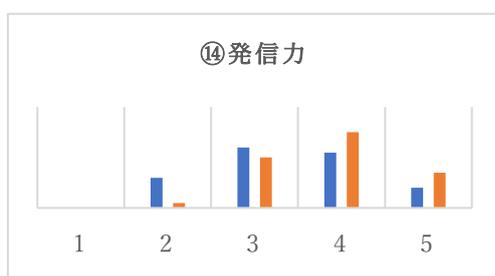
⑫ 計画力



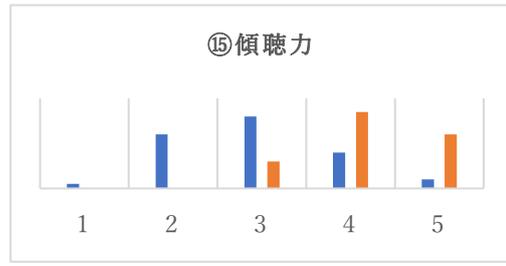
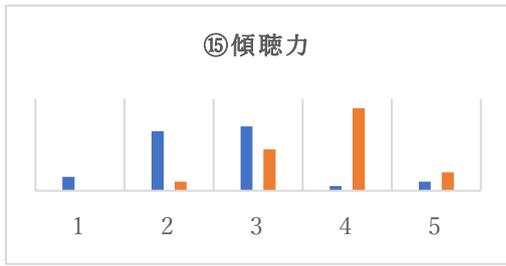
⑬ 創造力



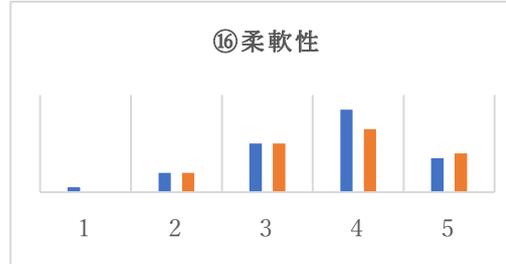
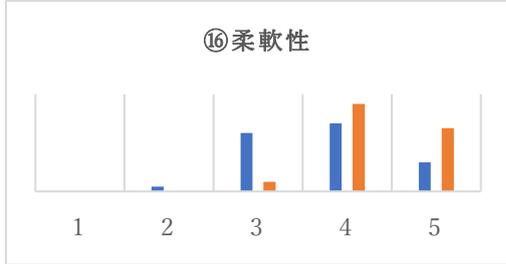
⑭ 発信力



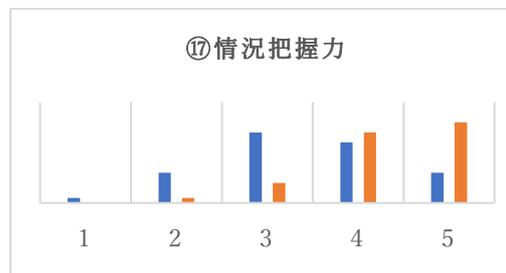
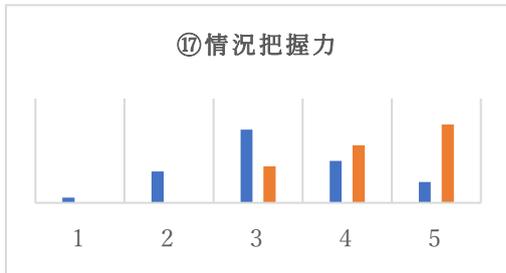
⑮ 傾聴力



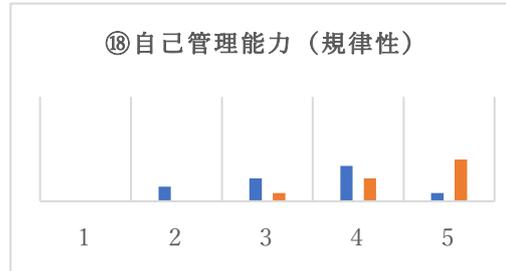
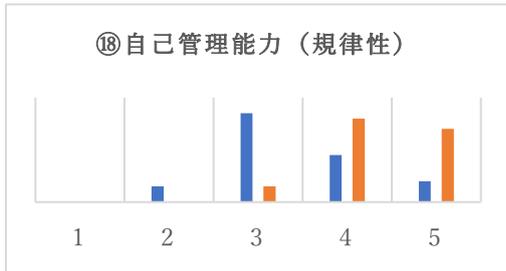
⑯ 柔軟性



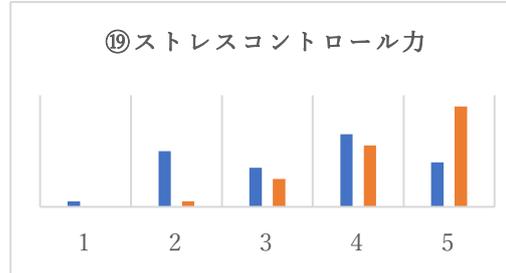
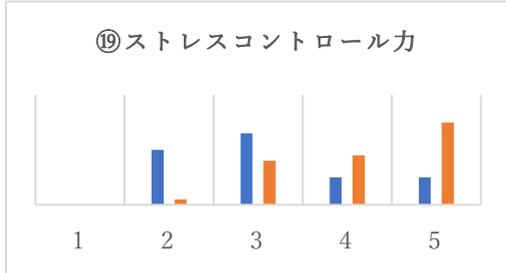
⑰ 状況把握力



⑱ 自己管理能力 (規律性)



⑲ ストレスコントロール力



いずれのプログラムにおいても、出発前（青）と帰国前（赤）では、帰国後の方が成長実感のある結果がでている。

なお、今年度のいずれのプログラムにおいても、特に、①国際・異文化理解、②英語力、④コミュニケーション力、⑧主体性、⑨ストレスコントロールなどの力が大きく伸びたと実感している傾向がある。

プログラム内容や滞在方法、渡航先、渡航時期などの差もあるが、同様に成長を実感できることは、留学プログラムの一定の成果であると思われる。

■ ハイブリッド留学参加者より自由回答 (一部抜粋)

- ・ハイブリッド留学に参加したことで英語力だけでなくさまざまなことを学ぶことができたと感じています。特に何事にも挑戦する心構えなどはアメリカに来て生活することで身につけられて良かったと強く思っています。
- ・海外に対するハードルが下がったのが一番の経験でした。
- ・最初こそアメリカで暮らすことの不安が大きかったものの今では時間の経過が早く感じるほど慣れていった。
- ・日本では体験できないことをたくさんすることができ、日本にいたときより、いろいろなことに挑戦するようになった。
- ・この留学のおかげで確実に英語力だけでなく、人としても成長出来た気がします。初対面の人と話すのに抵抗が無くなったり、外国人の方ともっと積極的に話そうと思えたり、考え方が根本的に変わりました。具体的に何に生きるかはわかりませんが、この先の人生で確実に役に立つことは確かです。
- ・最高だった。海外の人も色々な人がいると感じたけど、1番は一緒に行った日本人も色々な考えを持っていて面白かった。自分は全然英語が喋れなくて、喋れる友達を見て羨ましかったからこの気持ちを忘れないで英語を喋れるようにしたいと思った。沢山の人に恵まれて留学を終えることができたことに本当に感謝してる。留学での経験を少しでも活かして行きたい。
- ・異文化について触れあうことが自分にとってとても価値の経験になった。
- ・英語力は自分で勉強しなければ伸びないことが分かった。しかし、新しい世界を知り、人として成長することができたと思う。
- ・毎日が目新しい事ばかりな生活を3ヶ月も経験できたことは、自分にとってとても刺激になり、学びになりました。この経験を忘れずに、これからの人生に生かしていきたいです。
- ・参加して本当に良かったです！毎日刺激的で毎日がとても楽しかったです！日本との違いも多く経験できまし、たくさんの人との出会いが自分の価値観や考えに影響を与えてくれました。
- ・とにかく自分の力で海外の生活を送るということそして計画性をもって留学に臨むことができたのはいい経験になったと考える。
- ・3ヶ月が本当にあっという間でしたが、とても貴重な体験になりました。保存再生やリノベーション、コンバージョンが当たり前の環境に身を置くことができたため、日本では絶対に体感できないものを身をもって体験することができました。
- ・人生において非常に有意義な時間でした。また自分を成長させるきっかけがたくさんありました。今回の留学は英語力を上げる、建築を学ぶというよりも外の世界を知りたい、自分の中の価値観を変えたいといった目的の下、参加しました。このプログラムではそれらの目的を果たすだけでなく、現地でもたくさんの気づきを得ることができました。
- ・新たなことに挑戦する機会が多く設けられ楽しみながら成長の感じることでできる留学になったと感じる。
- ・留学をすることで今まで日本にはなかなか思いつかない発想や経験をできてよかったです。